

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0370/502505/04/01		事業の種類	4	
年度	22	事務事業名	青少年育成事業	作成日		
予算事業名	青少年育成事業		担当課名	生涯学習課		
政策名	愛着と生きがいを育むまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	青少年の健全育成					
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年及びその保護者				
	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生涯学習活動を推進することにより、青少年の健全育成を図る				

2 事業の概要 Do

実施の概要	げんキッズイングリッシュキャンプ及びげんキッズチャレンジウォークを実施する					
活動実績	項目	単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度計画
	げんキッズイングリッシュキャンプ	人数	32	32	31	50
	げんキッズチャレンジウォーク	人数	0	21	28	30

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		20年度決算	21年度決算	前年比	22年度決算	前年比	23年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.086	103.6	0.087	101.2	0.083	95.4	
	主幹以下職員	0.024	0.025	104.2	0.025	100.0	0.025	100.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	905,862	915,195	101.0	914,256	99.9	877,392	96.0	
	事業費	843,172	1,262,612	149.7	1,263,104	100.0	1,622,000	128.4	
	合計	1,749,034	2,177,807	124.5	2,177,360	100.0	2,499,392	114.8	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	288,000	351,000	121.9	363,000	103.4	590,000	162.5	
	一般財源	1,461,034	1,826,807	125.0	1,814,360	99.3	1,909,392	105.2	
	合計	1,749,034	2,177,807	124.5	2,177,360	100.0	2,499,392	114.8	

4 評価指標

【有効性】

指標名1	げんキッズイングリッシュキャンプの参加人員								
指標説明(式)	参加者数								
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
人	目標	30	30	100.0	30	100.0	50	166.7	
	実績	32	32	100.0	31	96.9			
指標名2	げんキッズチャレンジウォークの参加人員								
指標説明(式)	参加者数								
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	30	-	30	100.0	30	100.0	
	実績	0	21	-	28	133.3			

【効率性】

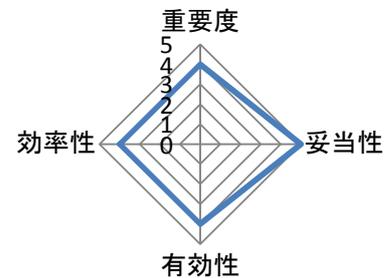
指標名1		げんキッズイングリッシュキャンプコスト							
指標説明(式)		委託料÷参加者数							
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
円	実績	26,349	30,081	114.2	31,067	103.3	26,440	85.1	
指標名2		げんキッズチャレンジウォークコスト							
指標説明(式)		委託料÷参加者数							
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
円	実績	0	14,285	-	10,714	75.0	10,000	93.3	

5 事業の評価(22年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	少子化のなかで子どもの健全育成を目指した事業提供は必須である	5	5
	市民ニーズ	青少年に対する事業への要求は高い		
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年等の数が減少しているに関わらず、参加者数は維持または増加している	4	4
	市民サービス	子どものニーズに応える事業展開を行い、適切なサービス提供がなされている		
効率性	コストの節減	前年度の参加人数を維持または増加している	4	4
	手段の最適性	ボランティアも参加し実施		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	参加ニーズが高い中で、参加者定員増を図るうえで、事業メニューや実施場所の見直しが必要となる。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた23年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	イングリッシュキャンプについては定員を30名から50名に増加し事業を拡大した。ボランティアとの協力を図るとともに、参加者の増加を目指す。イングリッシュキャンプ参加料を9,000円から10,000円にアップした。
H22→H23予算反映額		358,896

検討の有無	—
総合指標	23.5